

令和元年度 事業報告書

社会福祉法人 三恵会

事業報告目次

三恵会本部	1 ～ 3
特別養護老人ホーム きぼうの苑	4 ～ 6
障害者支援施設 あゆみ苑	7 ～ 9
ケアハウス 夢テラス	10 ～ 11
障害者支援施設 三恵ホーム	12 ～ 14
デイサービスセンター えぐも	15 ～ 16
児童福祉施設 十全保育園	17 ～ 19
特別養護老人ホーム ハートランド三恵	20
老人保健施設 リハビリステーション三恵荘	21 ～ 22
老人保健施設 希望の館	23 ～ 24
通所介護事業所 おいでんや	25 ～ 26
多機能型事業所 わくわくクラブ	27 ～ 28
放課後児童クラブ ともだちパーク	29 ～ 30
地域子育て支援事業（ひろば型） にこちゃんパーク	31 ～ 33
地域密着型特別養護老人ホーム うみかぜ	34 ～ 35
グループホーム かがやき	36 ～ 37
児童福祉施設 中萩保育園	38 ～ 42
養護老人ホーム 慈光園	43 ～ 45

三 惠 会 本 部

令和元年度（平成 31 年）事業報告

1. 経営方針

令和元年度は、社会福祉法改正後 3 年目となり、社会福祉法人に求められている「経営組織のガバナンスの強化」、「法人運営の透明性の向上」、「財務規律の強化」について、経営の主体となる「理事」、「理事会」、「監事」、「評議員会」が有効に機能するよう運営を実施してまいりました。

「ガバナンスの強化」では、理事会を 7 回、評議員会を 3 回開催し、事業計画、予算、各種規程、定款変更など重要事項に対し、審議・決議をしてまいりました。また、令和元年度は「理事」・「監事」の改選、内部管理体制の基本方針の策定をいたしました。理事会は、法人における業務執行の意思決定機関であり、内部統制の機能を十分に果たせるよう理事会の運営をしてまいります。

「財務規律の強化」では、会計監査人の導入により、財務情報や社会的な信頼性の向上だけでなく、経営上の問題点も把握でき業務改善に有効に機能しております。今年度は本業利益で 3 億 4 0 0 万円、当期最終利益は 1 億 5, 2 5 0 万円となり、予算を達成することができました。

また、今年度は、介護職員の特定処遇改善加算の算定に向けた検討、経営戦略計画に掲げている「適正な給与制度の構築」など、職員の労働意欲の向上、職員が将来に向けて長く働ける職場と活躍できる制度の実現に向けて着手いたしました。

人材確保については、大学、専門学校、高等学校との連携を強固なものとし、採用ツールの有効活用や学生とも連絡をとりながら三恵会を選んでいただけるよう活動してまいりました。その結果、令和 2 年 4 月に 9 名の新規学卒者を迎えることができました。

2. 重点課題と具体的な取り組み

(1) 「経営戦略計画」の見直し

「サービス」、「組織・職員」、「財務・コスト」についてさらに推進する内容、軌道修正あるいは、追加が必要となる内容について、見直しを行う。

➡継続中

(2) 適正な給与制度の構築

コンサルタントの導入も視野にいれ、勤務年数、年齢、経験年数などにに基づき、職員の定着と労働意欲の向上を引き出すような給与制度の構築を進める。

➡令和元年 1 1 月にコンサルタント会社と契約を行い、2 0 2 1 年 3 月を目標として

新たな給与制度の構築に向けて着手した。

(3) 介護職員特定処遇改善加算の検討

令和元年10月から新設される加算について、取得要件、配分方法など、今後示される解釈通知、Q&Aから考え方を整理し決定していく。

➡令和元年7月に説明会を開催し、令和2年度から算定し職員への処遇改善を実施することとした。

(4) 人材確保の取り組み

安定的な法人の運営のためには、職員の確保が必要不可欠であることから、インターシップの導入、定期的な学校訪問、就職セミナーへの参加、企業説明会・見学会を継続し、法人の魅力を学生にPRする機会を増やす。

➡取組の継続だけでなく、学生個々との連絡を密にとった。ミラツクの映像媒体を持ちいるなど工夫をしながら丁寧な説明にも心がけた。

3、研修計画

(1) 法人内研修

階層別研修（日本経営）

若手層向け研修

第1回	令和元年	6月19日	参加者25名
第2回	令和元年	7月22日	参加者22名
第3回	令和元年	8月29日	参加者23名

中堅クラス研修

第1回	令和元年	9月27日	参加者32名
第2回	令和元年10月	29日	参加者33名

リーダクラス ステップアップ研修

第1回	令和元年	9月26日	参加者15名
第2回	令和元年10月	31日	参加者16名
第3回	令和元年11月	28日	参加者15名

若手層 フォローアップ研修

第1回	令和元年	8月30日	参加者11名
-----	------	-------	--------

(2) 法人外研修

○令和元年度社会福祉法人経営青年会

令和元年 5月17日 聖カタリナ大学

令和元年 9月24日 愛媛県総合社会福祉会館

令和元年10月18日 社会福祉法人来島会

○福祉就職セミナー、学校内企業説明会

令和元年 6月 2日 松山総合コミュニティセンター

令和元年 6月 5日 愛媛調理製菓専門学校

令和元年 6月15日 聖カタリナ大学

令和元年 7月23日 松山市男女共同参画推進センター

○社会福祉法人セミナー

(愛媛県社会福祉法人経営者協議会・愛媛県社会福祉協議会)

令和元年7月29日 愛媛県総合社会福祉会館

令和元年9月 4日 愛媛県総合社会福祉会館

○介護職員等特定処遇改善加算 取得支援セミナー

((公財) 介護労働安定センター 愛媛支部)

令和元年7月12日 アイテム愛媛

○介護職員等資質向上支援事業研修会

(ツクイスタッフ松山支店 (愛媛県委託事業))

令和元年8月 8日 新居浜市市民文化センター

特別養護老人ホーム
きぼうの苑

きぼうの苑 令和元年度 事業報告

1. 経営方針

令和元年度は次の項目を目標に掲げ、事業運営を行いました。

- (1) 各事業所における稼働率等の具体的な数値目標に対して、訪問介護以外の事業所で達成に至らないという結果でした。しかし、支出を抑えるための取り組みについては成果が出ました。
- (2) 職員個々の知識や技術力の向上のため、研修会や勉強会の内容を見直しました。
- (3) 接遇力アップのため、施設内巡回を強化し、委員会等で各部署での取り組みを定期的に確認する取り組みを行いました。
- (4) 老朽化した空調設備・給湯設備等の改修工事の実施のため、プロポーザル方式の入札による設計事業者の選定を行いました。
- (5) 腰痛予防や介護職員等の働きやすい職場環境整備のため、ノーリフティングケアの委員会を創設し、具体的な取り組みを行いました。

2. 重点課題と具体的な取り組み

- (1) 「誠実な福祉」の実践
 - ① 三恵会理念、行動指針に基づいた施設運営の実現を目指して努力しました
 - ② 職員相互が信頼しチームワークのとれた、連携した業務の遂行ができるよう努めました
 - ③ 災害（地震・火災・自然等）への取り組みとして、災害毎の避難訓練を行いました
- (2) 「確実な知識と技術」の修得
 - ① 職員研修を段階的・継続的に実施し、専門職それぞれのレベルアップを図りました
 - ② 高齢化、虚弱化が進む利用者の介護事故の検証と事故防止対策の徹底を図りました
 - ③ 介護福祉士等の資格取得挑戦への積極的な支援を行いました
 - ④ ノーリフティングケアの委員会の創設と技術研修を実施しました
- (3) 「堅実な経営」への取り組み
 - ① 事業者（部署）ごとに稼働率・利用者数等の年間目標を掲げ、達成に向けて具体的に取り組みました。また、経費節約の取り組みを強化しました
 - ② 入所待機者の効率的入所と入院による空室期間短縮に努めました
 - ③ 空調設備・給湯設備等の改修工事のため、プロポーザル方式による設計事業者の選定や補助金獲得に向けた取り組みを行いました
 - ④ 職員がやり甲斐・生き甲斐を感じられる、満足できる施設づくりを目指し、職員へのメンタルヘルスケアの実施やパワハラ、セクハラ、マタハラなどの防止に努めました

3. 研修計画

- (1) 施設内
 - ① 三恵会本部主催
新人研修 研究発表研修 他

② 自主研修

4月	接遇について	10月	個人情報・プライバシー保護について
5月	メンタルヘルス等について	11月	感染症予防について①
6月	食中毒予防について	12月	リスクマネジメントについて
7月	褥瘡防止について	1月	感染症予防について②
8月	コミュニケーション技法	2月	虐待防止について
9月	認知症ケアについて	3月	身体拘束廃止について

* 内容により外部講師等を招聘

(2) 施設外

① 老人福祉施設協議会関係

全国 四国 愛媛県 東予地区 新居浜市各協議会

② 栄養士関係 愛媛県 東予地区 新居浜市 各栄養士研修 特定給食施設研修

新居浜市病院等栄養士研修 栄養ケアマネジメント研修

③ 介護職員関係 認知症 指導者養成研修 介護技術向上研修

④ 介護支援専門員 愛媛県 新居浜市 県社協主催研修

⑤ その他

新居浜市社会福祉協議会主催の各種研修

ノーリフティングケアの研修

その他各職種団体からの案内のうち、必要性の高い内容の研修会に参加

4. 行事計画（年間）

4月	花見 家族会 屋外散歩	10月	太鼓祭り 社会見学 運動会 防火訓練
5月	新緑ドライブ 機関誌発行 屋外散歩	11月	文化祭 紅葉見物 焼き芋
6月	運動会 外食 外気浴 菖蒲見学	12月	忘年会 お餅つき クリスマス 大掃除
7月	七夕 ビアホール ワークキャンプ	1月	お正月 初詣 新年会 機関誌発行
8月	慰霊祭・盆踊り 防災訓練	2月	節分 バレンタインデー
9月	敬老会 観月会 機関誌発行	3月	ひな祭り ホワイトデー 防火訓練 イチゴ狩り

* 各クラブ活動 定期的を実施

5. 地域交流、ボランティア、実習生

(1) 地域交流

交流事業 やすらぎの郷文化祭 西の土居花見 各自治会活動・公民館活動
校区運動会・文化祭への参加と協力（金栄・金子）
施設見学の受入れ、ふれあいサロン等の実施（西の土居、政枝、久保田、
高木、滝宮） 校区ソフトボール大会 自治会・校区防災訓練

(2) ボランティア活動

① 職員ボランティア活動

地域清掃 生き生きフェスティバル 地元自治会活動への協力

② ボランティアの受入

新居浜工業高等学校 新居浜商業高等学校 新居浜南高等学校 天理教
金栄福祉ボランティア団体 金栄婦人会 若く明るく歌う会

語り部演奏 マンドリン演奏 大正琴演奏 絵手紙教室 習字
 クラシック演奏 昔話披露 三味線演奏
 フォークダンス 口腔ケア衛生管理

(3) 実習生の受入

① 学校等

十全看護専門学校 松山東雲短期大学 河原医療福祉専門学校

② 体験学習 新居浜市役所 教員免許特例法による大学生介護体験

③ シルバー人材センター

6. 利用状況

【入所】 *定員120名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
稼働率	95.4	95.0	94.3	94.8	98.5	98.8	97.9	96.2	91.1	91.9	92.4	92.1	94.9

【短期】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
稼働率	28.5	21.5	32.6	28.7	30.1	31.9	35.8	61.5	43.0	36.8	36.8	44.4	35.9

【通所】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
稼働率	74.7	76.8	68.3	72.7	70.1	72.2	68.9	72.4	69.4	70.6	70.4	72.9	71.6

【訪問介護】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
延人数	1055	1212	1310	1172	1116	1110	1145	1093	1106	1051	1041	1063	1107.9

障害者支援施設
あゆみ苑

あゆみ苑 令和元年度 事業報告

1. 運営の概要

令和元年度は次の項目について事業運営を行った。

- (1) 稼働率目標に対し、利用登録者の増加を図るため関係機関への働きかけなどの取り組みを行った。また、支出を抑えるために全職員で経費の節約に取り組んだ。
- (2) 職員個々の知識や技術力の向上と職員間や他部署との連携及び情報共有の強化のため研修や指導をととして介護事故や苦情のない施設を目指し努力した。
- (3) 接遇力アップのため、正しい言葉遣いとあいさつの励行、身だしなみ等の確認を行い、職員資質の向上を図るための研修などの取り組みを行った。
- (4) 老朽化した空調設備・給湯設備等の改修工事の実施のため、プロポーザル方式の入札による設計事業者の選定を行なった。
- (5) 腰痛予防や生活支援員の働きやすい職場環境整備のため、ノーリフティングケアの委員会を開催した。
- (6) ご利用者の高齢化による入院や介護保険への移行に備え、新規利用者の獲得のため相談支援事業所や各サービス事業所と情報交換・連携強化を行い、また特別支援学校の生徒の積極的な受け入れに努めた。

2. 具体的な取り組みの実績

(1) 「誠実な福祉」の実践

- ① 三恵会理念、行動指針に基づいた施設運営を目指して努力した
- ② 職員相互が信頼しチームワークのとれた業務の遂行ができるよう努めた
- ③ 災害（地震・火災・自然等）への取組みとして災害毎の避難訓練を行った

(2) 「確実な知識と技術」の修得

- ① 高齢化が進むご利用者個々の障害特性の把握と事故防止対策の徹底を図った
- ② 障害者支援についての理解をより深め、統一した支援対応の徹底を図った
- ③ 介護福祉士等の資格取得挑戦への積極的な支援を行う
- ④ ノーリフティングケアの委員会の開催と技術研修を実施した。

(3) 「堅実な経営」への取組み

- ① 稼働率等の年間目標を掲げ、達成に向けて取り組むとともに経費節約の取組みを強化し、事業収支の改善を図った
- ② 欠員にたいする入所待機者の効率的入所と入院による空室期間短縮に努めた
- ③ 空調設備・給湯設備等の改修工事のため、プロポーザル方式による設計事業者の選定や補助金獲得に向けた取り組みを行った
- ④ 職員がやり甲斐・生き甲斐を感じられる、満足できる施設づくりを目指し、職員へのメンタルヘルスケアの実施やパワハラ、セクハラ、マタハラなどの防止に努めた

3. 研修実施報告

(1) 施設内（きぼうの苑と合同）

① 三恵会本部主催

新人研修 階層別研修 他

② 自主研修

4月	接遇について	10月	個人情報・プライバシー保護について
5月	メンタルヘルスについて	11月	感染症予防について①
6月	食中毒予防について	12月	リスクマネジメントについて
7月	褥瘡防止について	1月	感染症予防について②
8月	コミュニケーション技法	2月	虐待防止について
9月	認知症ケアについて	3月	身体拘束廃止について

(2) 施設外

中四国身体障害者施設協議会施設長会（研修会）

愛媛県身体障害者施設協議会施設長会・研修会

愛媛県・新居浜市障がい者相談支援従事者研修等

通所施設直接処遇職員研修会

ノーリフティングケアの研修

*その他、適宜選択し研修会等に参加

4. 行事報告（年間）

4月 花見 公共乗り物での外出
5月 日帰り旅行 街中ツアー 愛媛県障害者スポーツ大会
6月 紫陽花見学 合同運動会 神事
7月 七夕 花火 ビアガーデン（施設内外） 素麺流し 映画
8月 慰霊祭 盆踊り カラオケ大会 夏祭り 映画
9月 日帰り旅行 観月会
10月 地方祭 防火訓練
11月 文化祭 紅葉狩り 街中ツアー 焼き芋
12月 クリスマス会 忘年会 餅つき 大掃除
1月 初詣 書初め 新年会 料理
2月 節分 バレンタイン
3月 ひな祭り 運動会 防火訓練
*定期行事：買い物、外出、買い物訓練、誕生者外食、陶芸、お茶会、
フラワーアレンジメント、料理教室
*クラブ活動：習字クラブ（第2・4火曜）、生花クラブ（第3木曜）

5. 地域交流、ボランティア、実習生受入報告

(1) 地域交流

やすらぎの郷文化祭、施設見学の受け入れ、他施設行事への参加、外出行事による社会参加、来苑ボランティアとの交流、校区芸能発表会、校区運動会、校区文化祭、校区ソフトボール大会、校区ケアネットワーク、自治会・校区防災訓練

(2) ボランティア活動

①職員ボランティア活動

地域清掃、地元自治会活動への協力、生き生きフェスティバル

②ボランティアの受け入れ状況

新居浜工業高等学校、新居浜商業高等学校、新居浜南高等学校、今治明德短期大学、
天理教、金栄福祉ボランティア団体、金栄婦人会、語り部演奏、琴演奏、
若く明るく歌う会、マンドリン演奏、大正琴演奏、絵手紙教室、習字、
フラダンス、オカリナ演奏、
口腔ケア衛生管理、昔話披露、三味線演奏、フォークダンス披露

(3) 実習生の受け入れ

<学校関係>

十全看護専門学校、愛媛十全医療学院

6. 利用者状況 (令和2年3月31日現在)

(1) 年齢 ()…入所支援

	19以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60～65	66以上	合計	平均
男	2 (0)	5 (0)	2 (0)	5 (3)	5 (2)	7 (2)	2 (2)	28 (9)	47.2 (59.0)
女	2 (0)	8 (1)	2 (0)	7 (3)	7 (2)	7 (3)	2 (2)	35 (11)	45.2 (54.9)
合計	4	13	4	12	12	14	4	63	46.1

(2) 障害者程度区分 ()…入所支援

	1	2	3	4	5	6	合計	平均
男	0 (0)	1 (0)	7 (1)	2 (0)	3 (3)	15 (5)	28 (9)	4.9 (5.3)
女	0 (0)	1 (0)	1 (0)	7 (0)	9 (4)	17 (7)	35 (11)	5.1 (5.6)
合計	0	2	8	9	12	32	63	5.0

ケ ア ハ ウ ス
夢 テ ラ ス

夢テラス 令和元年度 事業報告

1. 経営方針

令和元年度は次の項目を目標に掲げ、事業運営を行いました。

- (1) ご利用者個々の様々な背景や多様化するニーズに沿った細やかな対応を行うため、個別面談を重視し、茶話会等にて情報交換を積極的に行うよう努めました。
- (2) 職員間や事業所・関係機関との連携を図りながら、ご利用者が安心安全に過ごしていただけるよう個々の環境整備を行い、関係者と協力して生活支援に取り組みました。
- (3) ご利用者が日々の生活に潤いを持ち、楽しく充実した生活をお送りいただけるよう新たなクラブ活動の創設を行い、機能低下防止のための定期的な健康体操を実施しました。
- (4) 老朽化した空調設備・給湯設備等の改修工事の実施のため、プロポーザル方式の入札による設計事業者の選定を行いました。

2. 重要課題と具体的な取り組み

- (1) 「誠実な福祉」の実践
 - ① ご利用者が安心安全で快適に過ごせるよう生活環境の整備や体力低下予防と健康の維持・増進に努めました
 - ② ご利用者やご家族との意見交換や情報交換を積極的に行いました
 - ③ 災害（地震・火災・自然等）への取組みとして災害毎の避難訓練を行いました
- (2) 「確実な知識と技術」の修得
 - ① ご利用者の全体的なレベル低下の状況に合わせて、業務内容の見直しと職員間の情報共有、連携強化を図りました
 - ② 勉強会や研修会へ積極的に参加し、知識や技術の向上に努めました
 - ③ 取得した知識や技術を職員間で共有し、よりよいサービスの提供に努めました
- (3) 「堅実な経営」への取り組み
 - ① 機能低下を防止できるよう個別の支援を行い、長期利用に繋げるよう努めました
 - ② 入退居を円滑に進め、空室の期間を短縮化できるよう密な連絡調整に努めました
 - ③ 空調設備・給湯設備等の改修工事のため、プロポーザル方式の入札による設計事業者の選定を行いました

3. 研修実施報告

(1) 施設内（きぼうの苑と合同）

①三恵会本部主催

新人研修 階層別研修 他

②自主研修

4月	接遇について	10月	個人情報・プライバシー保護について
5月	メンタルヘルスについて	11月	感染症予防について①
6月	食中毒予防について	12月	リスクマネジメントについて
7月	褥瘡防止について	1月	感染症予防について②

- 8月 コミュニケーション技法 2月 虐待防止について
 9月 認知症ケアについて 3月 身体拘束廃止について
 ＊その他施設内での研修会・勉強会等

4. 行事報告（年間）

- 4月 花見 合同花見 ランチ外食
 5月 日帰り旅行 子ども太鼓台訪問
 6月 芍薬見物 ランチ外食
 7月 そうめん流し カラオケ
 8月 慰霊祭・盆踊り
 9月 敬老会 合同観月会
 10月 紅葉見物 太鼓台訪問
 11月 外食
 12月 餅つき クリスマス会・忘年会
 1月 初詣
 2月 節分
 3月 イチゴ狩り
 ＊定期行事：買い物クラブ 買い物代行 なかよしクラブ 茶話会 誕生会
 ＊新規行事：歌声喫茶クラブ おやつクラブ お茶クラブ 健康体操（毎週）

5. 地域交流、ボランティア、実習生受入報告

（1）地域交流

やすらぎの郷文化祭、施設見学の受け入れ、他施設行事への参加、来苑ボランティアとの交流、校区芸能発表会、校区運動会、校区文化祭、自治会・校区防災訓練

（2）ボランティア活動

①職員ボランティア活動

地域清掃、地元自治会活動への協力、生き生きフェスティバル

②ボランティアの受け入れ状況

天理教、若く明るく歌う会

6. 入所利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
稼働率	83.3	83.3	83.3	86.7	83.3	86.7	86.7	86.7	83.3	83.3	86.7	86.7	85.0

＊定員30名（内夫婦部屋：4部屋）

障害者支援施設
三 恵 ホ ー ム

1 経営の方針と現況について

利用者のサービス向上への観点から、自主性を尊重した支援を目指し、「自分らしく心豊かな満足の行く生活」を送っていただくために、利用者のニーズに沿ったサービス提供に努め、自立と社会参加が実現できるよう、社会見学、個別外出、ひとり外出、地域交流行事などを実施することにより、社会と交わり、障害のある人もない人も、共に普通に暮らせる意識を感じていただける機会の提供に配慮しました。また、これに併せて利用者の高齢化や障害・疾病の重度化による体力の低下、長期療養などの対策支援にも講じました。

また、職員には施設内外の研修に知識技術の習得の機会を積極的に計画し、職員のモチベーションの向上に努め、質の高い介護サービスの提供をめざした意識改革に取り組みました。

令和元年度は施設定員 70 名に対し、利用者の契約解除が続き、補充においても苦戦し稼働率 94%の 66 名の実績となりました。

「短期入所」及び「地域生活支援」の新規契約者は前年度末比 4 名増、契約者 32 名で元年度の利用率は新型コロナウイルス感染による利用のキャンセル、新規予約の受入れの中止などがあり、59%の実績となりました。

「指定特定相談支援事業所」においては障害者の自立した生活を支え、障害者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向け、きめ細かく支援するためにサービス利用計画を作成し、モニタリングやサービス事業所等との連絡調整、計画の見直し等に努め、元年度内の契約は出入りあるものの前年度末実績より 7%アップの約 117 件となっております。

2 重点課題と具体的な取組み

(1) 職員の確保について

職員の確保は、依然として看護師、生活支援員、調理員等の職種について、極めて厳しい状況が続いており、新規学卒者だけでなく、中途採用者についてもハローワーク、人材派遣や職員の知人など様々なルートを通じて確保に努めました。

また、職員の育成、定着のためにプリセプターをつけ、1 年を掛けて寄り添い、指導に努めました。また、定期的にプリセプター会を開き、振り返りをしながら成長を見守り、人材の定着に努めました。

(2) 設備等の整備では

利用者の高齢化や障害の重度化が進む中で、利用者、介護職員の負担の軽減を図るためにスライディングボード、移乗シート、ポジショニンググローブなど整備し活用を行いました。

(3) 利用者の思いを尊重した支援

利用者に関わる時間を多く持ち、利用者個々の考えや思いに耳を傾け、一人ひとりの生活スタイルを尊重し、ご希望に沿った支援の提供に施設全体で努めました。

(4) 利用者が安心して過ごすことのできる施設づくり

利用者のご希望・思いを実現するために個別支援計画に沿った支援に努め、満足に繋げました。また、接遇マナーを強化し、利用者やご家族、地域の人との良好な関係に努めました。

(5) 介護サービスの質の向上

施設内研修、外部研修へ積極的に参加し、資質の向上を図り、人材育成に努め、介護サービスの質の向上に努めました。

新人職員には介護体験を行い、介助される側の気持ちを体験してもらい、考察することで振り返り、支援に活かしました。

今年度も喀痰吸引等の行為の養成研修に生活支援員 1 名資格取得することができました。

(6) 地域に愛され、信頼される開かれた施設

地域の方との良好な関係を築くために地域行事、奉仕活動などに参加し、良好な関係作りに努めました。

社会福祉協議会等が実施する行事へ積極的に参加し、地域の方との交流を積極的行いました。

地域ボランティア団体、近隣の学生ボランティアの受け入れを積極的行いました。

3 研修計画

(1) 施設内

- ① 年間研修計画に基づく 回実施しました。
- ② 施設内研究の充実と施設内発表会の開催を実施しました。

(2) 施設外

- ① 全国身障協 職員研究大会
- ② 中四国身障協 施設長研修会、事務管理研修会、支援職員研修大会、職員研修大会
- ③ 県内身障協 職員研修会、サービス管理責任者研修会、職員研修大会
- ④ 職種別専門研修会
- ⑤ 三恵会本部主催の職員研修

4 実施した施設行事

- ① 4 月 お花見、地域交流三恵ふじ祭り
- ② 5 月 愛媛県障害者スポーツ大会
- ③ 6 月 防犯訓練、蛭子神社大祭、みんなでランチ
- ④ 6・10 月 みんなでランチ
- ⑤ 7 月 カラオケ大会
- ⑥ 8 月 地域交流三恵盆踊り大会
- ⑦ 9 月 防災訓練（地震、火災夜間想定等）
- ⑧ 10 月 みんなでランチ
- ⑨ 12 月 餅つき大会、クリスマス会、忘年会
- ⑩ 1 月 鏡開き
- ⑪ 2 月 節分豆まき
- ⑫ 3 月 防災訓練（土砂災害想定、火災夜間想定等）
- ⑬ 4 月～12 月 個別外出

5 地域交流、ボランティア、実習生

(1) 地域交流

- | | |
|-------------------|-------|
| ① 地域交流ふじ祭り | 300 名 |
| ② 地域交流三恵盆踊り大会 | 500 名 |
| ③ 東温市身障協会との交流会 | 10 名 |
| ④ 東温市社協仲間づくり事業交流会 | 70 名 |
| ⑤ 東温市文化祭参加 | 12 名 |
| ⑥ 川内保育園との交流 | 52 名 |
| ⑦ 重信中学との交流 | 10 名 |

(2) ボランティア活動

① 職員ボランティア活動

- ・地区の春の井出清掃と秋の道づくりに参加しました。
- ・国道 11 号歩道の生垣の清掃 隔月 1 回、年間 6 回実施しました。

② ボランティアの受入れ

- ・東温市婦人会(10 名) ・創価ボランティア(50 名) ・HATACHI の会(27 名)
- ・東温市社協(3 名) ・傾聴ボランティア(27 名) ・伊予銀行(5 名) ・愛媛銀行(7 名)
- ・河原医療福祉専門学校(3 名) ・松山東雲短期大学(1 名) ・聖カタリナ大学(2 名)
- ・愛媛調理師菓専門学校 ・松山城南高校(11 名) ・愛媛十全医療学院(9 名)
- ・愛媛大学医学部(2 名) ・東温市立南吉井小学校(1 名)

(3) 実習生の受入れ

- ・河原医療福祉専門学校 ・松山城南高校(福祉科) ・愛媛大学

デイサービスセンター
えぐも

令和元年度 えぐも事業報告（案）

デイサービスセンター えぐも

1. 経営方針

通所介護事業所においては、居宅介護支援事業所を始め各関係機関へ、新規利用者紹介の働きかけを行い、利用者、家族の方々には、知人等の紹介依頼に努め、また、行事開催やボランティア団体の訪問の際には、民生委員等の代表者の方々に地域住民への参加を促していただき、結果、10 数名の新規利用へと繋げることができましたが、入所・死亡等での利用休止者も相次ぎ、安定した利用者数の確保とまでは至りませんでした。東温市内においては、今後、団塊の世代の方々が、何らかの介護サービスの利用を必要としており、よって、次年度の収入の確保に向けての課題として、既定路線の居宅事業所からの紹介依頼だけでなく、独自での利用希望を募る等の広報活動に力を注ぎ、半日利用の時間短縮にも対応した、幅広い利用受け入れ体制で、収入の確保へと繋げてまいりたい。

居宅介護支援事業所においては、利用者や家族からの意見や要望等がある際には、速やかに対処し、希望に添ったケアプランの作成に努めました。また、その際、利用者の多くが、家族からの要望により、リハ施設での通所を希望されることが多く、通所えぐもにおいても、訓練体制を整えていることから、リハビリを希望の利用者・家族の方々には、事業所の選択肢の一つとして、通所えぐもの紹介に当たりたい。

2. 重点課題と具体的な取り組み

(1) 新規利用者の確保

- ・午後から、地域住民の方々を対象に、温泉入浴の無料開放をし、通所A型利用の申込み申請を勧めました。
- ・ボランティアによる演芸等の開催日は、各地区の民生委員や世話人の協力依頼のもと、地域住民を招待し、えぐもの活動内容を広めていくことに努めました。

(2) 提供サービス内容の充実

- ・各分野で活動中のボランティアグループへ、来所依頼をし、午後から、飽きの来ない充実感溢れるサービスの提供に努めました。
- ・元気な高齢者の受け入れに向けて、ドライブや食事会等の行事企画をし、地域住民への参加促進を促しました。

3. 研修計画

(施設内)

- ・併設施設の三恵ホーム施設内研修 4回

(施設外)

- ・県老協研修 4回
- ・中予老協研修 4回
- ・介護支援専門員講習 4回
- ・三恵会職員研修 3回
- ・三恵会通所部門会 1回

4. 行事計画

- ・社会見学 (3回)
- ・敬老演芸会 (1回)
- ・誕生会 (12回)
- ・クリスマス会 (1回)
- ・カラオケ大会 (2回)
- ・オセロ大会 (2回)

5. 実習及びボランティアの受け入れ

- ・尺八演奏会 (四季の会) 2回
- ・カラオケ同好会 2回
- ・伊予民謡研究会 2回
- ・俳句会 18回
- ・音楽療法 20回

兒童福祉施設
十全保育園

令和元年度事業報告

1. 経営方針

平成30年度から施行された「保育所保育指針」は2年経過し、乳児保育を重視した保育、また、大きく示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」も少しずつ、現場の保育の中に浸透してきています。しかし、まだまだ実際の保育の中で指針の中の項目が、具体的にどのように展開されているかが、課題となっています。

経営面においては、幼児保育の無償化により副食費を保育園で徴収することになりました。このことにより、現在抱える少子化問題に対して、少しでも歯止めをと、一人ひとり多様な子育てニーズに応える体制がとられましたが、保育園の様々な予算を少しでも減額しようとする動きが内閣府の中にあり、経営面では不確かな部分も多い状況です。

令和元年度、園内では子育て支援に力を入れていきました。障がい児と診断されていませんが、発達において遅れが見られる児童、家庭の在り方に問題がある児童、親子関係がうまく築けない等、望ましい子育て環境を目指しての支援を保育園全体で行うようにしていきました。子育てが難しい、負担に感じる保護者が増えてきた状況を踏まえ、少しでも保護者の精神面における支援ができるよう、保護者に働きかけていきました。

保育においてはクラスの日々の保育を大切にしながら、行事では職員全体でどのような子どもに育てていきたいか、職員間で保育観を一致させ関わっていきました。その中でひとり一人の職員が具体的にどのような保育をするか、職員の役割を明確にすることで、責任をもち協力し合う姿が見られました。職員相互の刺激にもなったと思います。今後も職員が団結し、質の高い保育を目指していきます。

2. 重点課題と具体的な取り組み実績

(1) 「誠実な福祉」の実践

① 子どもの健康・安全な生活を保障する。

- ・大きなけがは、ほとんどなく、保育を行うことができた。

新型コロナウイルス感染に対して、感染予防の消毒や換気を行い、児童・職員の体調管理を徹底していった。今後も継続していく。

② 子どもの健やかな発達を目指した保育

- ・発達支援課の巡回相談では、発達支援課に通い、支援を直接受けている児童もいるが、そこまでに至らない児童の現在の発達を捉え、保護者を巻き込んで相談することができた。普段の生活の中で、配慮すべき点、支援していくと良い点等を確認し、専門機関と家庭・保育園が同じ視点で発達に関わっていくことができた。

また、発達支援課で発達検査を受けることで、児童の発達のアンバランスさや今後の課題を明確に捉え、保育士自身も対応の仕方を学ぶことができた。

- ・保育園では行事の取り組み等により、園児ひとり一人の発達が促され、今までの保育の成果が、保育現場で確認できたことが、保護者の喜びとなった。職員にとっても保育に対して自信となり達成感を味わうことができた。

(2) 「確実な知識と技術」の修得

①職員の資質向上について

- ・キャリアアップ研修では、計画的に研修に参加することができ、普段、研修できない専門的な内容を学ぶことができた。また、研修後のレポートのまとめ方も、決められた中でどのようにまとめていけば良いかということを学ぶ機会が得ることができた。今後も引き続き専門性を高めていきたい。

②職員の業務内容について

- ・それぞれの職種において、行事等で責任と当事者意識を重視し、業務を進めた。特に栄養士は、食育活動での保育士と連携が図れ、計画的に進めることができた。
- ・行事においては、連携・協力し合い、取り組むことができた。また、早め早めの取り組みで計画的に進めた。
- ・ノートパソコンの購入・導入により、保育計画・記録がスムーズにできるようになった。保育の記録に時間がかかっていたものをできるだけ、業務時間内で効率良く、記録しようという意識が芽生えた。

(3) 「堅実な経営」の実践

- ・児童数に対して、適切な保育士の配置を検討し、その中で、いかに中身が充実した保育が行えるか意識した。
今後は、加算等の内容を活かし、様々な加算がとれるよう力をいれていきたい。

3. 研修実績

(1) 施設内

- ・職員会（月 1 回） ・先任者会・主任会（随時）

(2) 施設外

- ・保育協議会部会（園長・主任・幼児・乳児・障がい児・給食）
- ・日本保育協会主催研修・人権教育研修
- ・給食担当者会議・三恵会主催研修 等

4. 行事实績(年間)

- 4月 入園式・健康診断・家庭訪問
- 5月 親子遠足・野菜苗植え・種まき・歯科検診
- 6月 保育参観・夕涼み会
- 7月 七夕会・プール開き
- 8月 プール大会・ライン引き・デイサービス交流
- 9月 敬老の日になんでの葉書投函
- 10月 運動会・お祭り集会
交通安全教室 ・歯科検診
- 11月 のま馬ハイランド遠足(年長児)・七五三・職場訪問(警察署、西原郵便局)
火遊び防止教室・シルエット劇場観劇
プーク人形劇観劇・健康診断
- 12月 保育参観・もちつき・クリスマス会
クリスマスコンサート参加(十全総合病院)
- 1月 記念撮影・新居浜ネットワーク撮影
- 2月 節分・生活発表会(たのしいあつまり)・年長児お茶会
- 3月 交通安全教室・乳児遠足・お別れ遠足・お別れ会・卒園式
(毎月実施)身体測定・避難訓練 (随時)なかよしの日《異年齢交流》

5. 地域交流、ボランティア、実習生

(1) 地域交流状況

- ・お誕生会 ・夕涼み会 ・デイサービス交流
- ・運動会 ・「たのしいあつまり」(生活発表会) 等

(2) ボランティア状況

《夕涼み会》

- ・十全看護専門学校 計 9名

(3) 実習生受け入れ状況

- | | | |
|------------|------------|------|
| ・十全看護専門学校 | (小児看護学) | 31名 |
| ・新居浜西高等学校 | (体験学習) | 25名 |
| ・新居浜市立南中学校 | (体験学習) | 6名 |
| ・新居浜商業高等学校 | (インターンシップ) | 2名 |
| | | 計64名 |

特別養護老人ホーム
ハートランド三恵

1、経営方針

昨年度の事業計画の根幹は「堅実経営が出来る体制の基盤作りを主な計画とする」であった。

年間実績を振り返ると、まだまだ未達ではあるが職員体質の刷新を中心とした施設体質の改善を目指し、一定の成果があったが、まだ道半ばと判断し継続的努力を要すると思います。

運営実績においては、当初計画93%の入所実績は90・6%で未達であったが、ショートステイは84・3%稼働と入所実績に貢献しました。在宅系では当初計画80%稼働であったデイサービスは87・1%で全体の当初予算オーバーに大きく貢献しました。また、居宅介護支援事業所も対前年対比33%の伸びで通年特定事業所加算の達成と利用者開拓が大きく貢献し安定的運営を行ってきました。

一方、当初予算計上の施設老朽化に伴う補修工事「空調・防水」は防水工事は実施できたものの空調設備は次年度へ持ち越しせざるを得ない状況となった為、急遽LED工事を施工し設備投資予算の代替利用を行いました。よって懸案事項となった空調設備改修工事は許される限り、早い時期に対応し快適な入所生活が達成できるよう努力します。

2、重点課題、具体的な取り組み

1、誠実な福祉・・・確実な5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）は一定の成果があったが、情報の共有は今一歩出来ず、令和2年度に持ち越しをせざるを得ない状況であった。

2、確実な知識と技術・・・日常業務に追われ十分に達成できなかった。「正しい認知症への理解と知識」の形で次年度の継続目標とした。

3、堅実な経営・・・当初予算の必達は達成できた。

将来を見据えた経営基盤の形成は一定のレベルでは達成できたが、将来への資源作り（デイサービスの内容再考）を行いたかった。

3、研修計画は愛媛県及び東予老協主催研修しか参加出来なかった。

4、行事予定は予定どおり実行できた。

5、地域交流、ボランティア、実習生受け入れは予定に基づいて実行できた。

老人保健施設
リハビリステーション三恵荘

令和元年度 事業報告

リハビリステーション三恵荘

1、経営方針

令和元年度、経営状況において入所部門は目標としていた稼働率 95%には及ばず前年度と大差ない稼働率ではありましたが、課題であった「在宅復帰支援機能加算」の算定が安定的にでき、事業活動収入は前年度を上回る事ができました。

一方、通所リハビリテーション事業所は事業定員数を増加したことによる稼働率の低下はあったものの、営業活動の継続、時短等の柔軟な受け入れにより前年比で微増ではあるものの利用者数増となりました。

結果、予定していた空調改修工事の他、施設の老朽化に伴う不具合箇所の整備改修も予算範囲内で行うことができました。これは入所、通所共に必要人員の補充がままならない状況の中、スタッフが一丸となり努力した結果だと考えます。

限られた人員で少しでもご利用者様に質の高いケアを提供できるよう「ユマニチュード（認知症）基礎研修」、各種研修会への参加を行い、各自が学び、みんなで共有し着実にレベルアップできたと感じています。今後はもう一段階上を目指し老健本来の役割を果たすことができるよう更なる努力が必要であると考えます。

2、重点課題と具体的な取り組み

（１）「誠実な福祉」

- ・在宅復帰を念頭に置く施設運営
- ・地域包括ケアへの基盤作り

（２）「確実な知識と技術」

- ・ユマニチュード受講者の増大
- ・各種研修会等への参加推進

（３）「堅実な経営」

- ・着実な事業活動収入の増大
- ・堅実な財務体制の確立と将来を見越した設備投資

3、研修計画

- 【施設内】
- ・ 認知症研修
 - ・ 接遇検討会
 - ・ 感染症対策勉強会
 - ・ 身体拘束廃止研修
- 【施設外】
- ・ 老人保健施設全国大会参加（大分）
 - ・ 通所リハビリテーション研究会参加
 - ・ ユマニチュード基礎研修参加

4、行事予定

施設・通所リハビリテーションともに四季折々の各種行事や外出行事をほぼ計画通り実施できました。（一部感染症にて未実施）

5、地域交流、実習生、ボランティアの受け入れ

地域交流・・・・・・・・地元太鼓台の訪問、中萩校区文化祭参加、ピンピンきらり体操
大生院地域食堂参加

学生ボランティア・・新居浜中高生ワークキャンプ

ボランティア・・・・・・・・歌レク、大正琴ボランティア等

老人保健施設
希 望 の 館

令和元年事業報告（案）

1. 経営方針

今年度事業計画で掲げた「数値目標」に向け取組んだ結果について報告する。

目標：入所関係稼働率 96%（入所 94、短期 2）、在宅復帰率 50%・回転率 5%以上

結果：〃 93.6%（入 90.9、短 2.7）、対前年度比-1.1%、他 2 条件クリアー

目標：通所リハ稼働率 80%（介 19+支 5=24/日）…在宅部門として再出発

結果：〃 75.2%（介 17.7+支 4.9）、対前年度比+4.0%

目標：居宅月間契約数 144 件（介 108+支 36）以上 …通所リハ目標達成への支援

結果：〃 157 件（介 117+支 40）、対前年度比+7 件

●入所・短期部門：目標であった年間を通して「超強化型」を維持！ …○

第一四半期は平均稼働率 88.17%であったが、残り 9 ヶ月を平均 95.4%の稼働率で乗り切った結果、年間平均稼働率は 93.6%まで回復し、且つ「超強化型」も維持することが出来た。目標には 1.4%届かなかったが、施設長を中心に最後まで諦めない「空気感」を維持出来たことは、各スタッフの「自信」に繋がるものと確信している。

●通所リハ部門：2 年計画で 80%を目指した 1 年目、初の稼働率 75%台を達成！ …○

通所リハ部門の活性化策として 4 部門（居宅、通所リハ、リハビリ、栄養）を統合し、新たに「在宅部門」を発足。その後、在宅部門長を中心に 2 年計画で 80%に向け取り組んだ 1 年目、過去最高の稼働率 75.2%を達成することが出来た。この「自信」を勢いに換え、R2 年度末には稼働率 80%以上を達成出来るよう心から期待したい。

●居宅部門：平均契約数 157 件は過去最高！（ケアマネ 1 人平均 39.25 件） …◎

施設が掲げた数値目標は余裕をもってクリアーしており、スタッフ個々のポテンシャルの高さを感じている。また、新設した「在宅部門」の要(部門長)として経営全体に影響を及ぼす頼もしい存在となった。来年度はスタッフを 1 名増員予定であり、通所リハへの支援は元より、全ての事業の活性化により一層貢献してくれることを期待したい。

以上、今年度も 3 部門が共に目標に向け努力してくれたお陰で安定した経営が出来た。これは施設長以下スタッフの不断の努力の賜物であり心から感謝したい。

2. 重点課題と具体的な取り組み（評価：◎出来た ○ほぼ出来た △要努力）

(1)「誠実な福祉」の実践

- ①「丁寧な言葉遣い」を心掛ける→上位者から率先して取り組む ⇒時々油断あり …△
- ②「空調・LED 照明設備の更新」→アメニティーの充実 ⇒電気代節約にも効果 …◎
- ③「在宅支援の充実」→出前講座の充実 ⇒（プレ）フレイル予防で地域貢献 …○

(2)「確実な知識と技術」の習得

- ①「感染症予防の対応」≤「感染症発生後の対応」⇒インフル罹患 1 名も 1w で終息 …○
- ②「チーム力 UP」→3 部署連携による「栄養サポート」⇒出前講座でフレイル予防 …◎
- ③「誤薬事故防止」→まずは「マニュアル」を忠実に実践する ⇒2 件発生（昨年 0 件）…△

(3)「堅実な経営」の維持

- ①「超強化型」の維持 →利用者・職員共に安心できる環境 ⇒「堅実な経営」を実現 …◎
- ②「在宅部門」の新設 →在宅支援体制の強化 ⇒4 部門統合による相乗効果あり …◎
- ③「在宅復帰支援体制」の強化 →在宅復帰率 UP ⇒「超強化型」の維持継続 …○

3. 研修計画

(1) 施設内

新入職員研修、感染予防勉強会、認知症関する勉強会、褥創予防に関する勉強会、事故対策に関する勉強会、虐待・身体拘束のための勉強会、プライバシー保護、接遇研修等、職員健診後、Dr の指導・管理栄養士の指導、メンタルヘルス研修等

(2) 施設外

三恵会法人研修 介護職員による喀痰吸引等研修
介護プロフェッショナルキャリア段位制度評価者講習
老人保健施設四国ブロック大会 ターミナルケア研修
愛媛理学・作業療法士学会 介護支援専門員更新研修
その他虐待・身体拘束、褥創、感染、事故予防等に関する研修など

4. 行事計画（年間）

4月 お花見
5月 アニマルセラピー やかた祭
6月 風船バレー大会
7月 セタ会、ピアホール
8月 夏祭り喫茶
9月 敬老会
10月 運動会、地方祭
11月 文化祭（東温市）
12月 クリスマス・忘年会、お餅つき
1月 新年会
2月 節分
3月 春の演奏会、菜の花ドライブ

5. ボランティア・実習生

(1) ボランティア受入状況

趣味クラブ（月2回）、民謡教室（月1回）、書道教室（月1回）、華道教室（月1回）オカリナ演奏（月1回）、ショッピング（月2回）、ともしび会（月1回）、サマーボランティア（年1回）、ウインターボランティア（年1回）傾聴ボランティア（月1回）など

(2) 実習生の受入状況

学校等：十全医療学院 愛媛医療福祉専門学校 愛媛大学医学部
河原医療大学校看護学科

通所介護事業所
おいでんや

令和元年度 事業報告

通所介護事業所 おいでんや

1. 経営方針

制度改正等について情報を敏感にキャッチするべく日々の業務にあたりました。年度初めの4月には“認知症加算”を、年度途中の10月からは消費税UPに伴う介護報酬の改定がありましたが、どちらも早め早めに利用者の同意をいただくための作業を進めスムーズに移行することができました。

【安心できる居場所】に関しても、連絡ノートや送迎時の伝言、電話での対話、若いご家族とはメールで連絡を取り合うなど、今まで以上にご家族とのコミュニケーションに力を注いできました。利用者の輪の中にも入り、プライベートな話も聞かせていただくなど、何でも話せる間柄になるための努力を惜しまず意識して取り組みました。

2. 重点課題

1) 稼働率の向上

①数値目標・・・最高だった月は1日平均22.2名・稼働率88.8%の数字が出ましたが、年度の平均は1日あたり20.3名・稼働率81.2%という結果でした。目標としていた1日平均23名には届きませんでした。過去最高の経営状況で年度を終了できました。新規の利用者数24名、入所などの理由で退所された方12名で、年間トータル12名の利用者増でした。

②居宅介護支援事業所の訪問も継続して実行し、より深い、顔見知りの、多少の無理を言い合える関係を築くことができました。

2) 職員の資質向上

①「ハウレンソウ」を当たり前にするのは難しかったです。引き続きの課題になりました。

②知り得た知識や技術を申し伝えることはできました。継続していくことは困難でした。（“自分ごと”と捉えることの難しさ）

3) 独創性を加味したサービスの提供

年間行事計画に基づき、春と秋の個別外出・毎月の外食・ドライブ・買い物行事に取り組むことができました。毎月実施でき利用者みなさんにも喜んでいただけたと思っています。

コミュニティの特色であるともだちパークの小学生との交流もできました。

4) 交流・ボランティア

施設内の交流（わくわくクラブ・ともだちパーク）は定期的に実施できましたが、外

部のボランティアさん（絵手紙・三味線演奏など）は、来訪者の高齢化や家庭の事情などで回数が減ってきたのが現状です。

5) 記録の充実

残しておくべき記録をきちんと残せているかは微妙なところでしたが、O A化を進めることはできたように感じています。

3. 研修計画

- 1) 施設内研修 できる限り参加できました。
- 2) 施設外研修 認知症実践者研修を1名受講し、日々の業務に活かすことができました。

4. 年間行事計画

- ・ 2月後半以降の行事は、新型コロナウイルスの影響で規模の縮小、中止になったものもありました。

規模縮小 ひな祭り・防火訓練

中止 梅見物・合同カラオケ大会・3月の外食

4月	5月	6月	7月
・お花見 ・個別外出	・個別外出	・菖蒲見物	・夏まつり（合） ・七夕まつり ・社会見学
8月	9月	10月	11月
・社会見学	・個別外出 ・避難訓練	・いきいきフェスティバル ・太鼓台見物 ・個別外出	・校区文化祭 ・紅葉見物 ・個別外出
12月	1月	2月	3月
・もちつき（合） ・クリスマス会 ・忘年会	・初詣 ・書初め	・節分 ・梅見物	・ひな祭り ・防火訓練 ・カラオケ大会（合）

多機能型事業所
わくわくクラブ

令和元年度 事業報告

多機能型事業所わくわくクラブ

1. 経営方針

生活介護事業は障害の重度化及び高齢化への対応が喫緊の課題と考え、重度化に伴う入浴支援の改善や高齢化に向けて職員の介護技術・資質向上を大きな目標とし、利用者及び家族の地域生活継続への想いに細やかにより添える事業所を目指し職員一同気持ちを一つに取り組むことが出来ました。

放課後等デイサービス事業所は、報酬・基準改定でも厳しい内容となっており、これをカバーする取り組みが必須となっていますが、制度設立の趣旨に軸足を置いて、障がい児の砦となれるような持続安定的な事業運営に努めて参りました。

2. 重点課題と具体的な取り組み

(1) 事業所拡大を目指して

生活介護事業では利用定員25名への復活を目指し、特別支援学校との情報交換・連携を密にし、実習生の受け入れや入学者・卒業者の動向把握に努めると共に、相談支援事業所からの紹介者が利用に結び付くように努めてきたことで、2名の新規利用者の受け入れに繋げる事が出来ました。

放課後等デイサービスにおきましても、地域の幼稚園・保育園との情報共有、発達支援を必要とする障がい児のニーズに的確に対応するため職員一人一人のスキルアップを図り、選んでいただける支援体制を整えることで、利用希望の問い合わせや1名の新規利用者受け入れに繋がりました。

(2) 支援内容の充実

① 重度化・高齢化への対応

生活介護事業において、障害の重度化・高齢化に伴い一般浴と機械浴（特浴）との棲み分けを行った事で、入浴希望に添った支援が出来、家族の入浴介助の負担軽減につなげることが出来ました。

② 多様な活動の場の提供；工賃アップを目指して

希望者には業者請負作業を提供していますが、工賃アップを課題と捉えて取り組んだ事で、工賃を受け取る喜びを感じ、『働く意欲』を高める事が出来ました。

放課後等デイサービスにおいても、卒業後の自立に向けた支援、学びと育ちの支援にむけ、活動内容の幅を広げ提供したことで、卒業後の生活をイメージした支援に繋げる事が出来ました。

③ 社会参加の促進

愛媛県障がい者スポーツ大会への参加をはじめ、作品展への出品など様々な地域行事に参加した事で、利用者が目的を持ち生き生きと行事に参加するなど、豊かな社会参加の場を提供することが出来たと感じています。

(3) ネットワークづくり

家族交流会を開催し日々の様子を見て頂く事で、家族と職員との情報交換や質疑応答の場を設けられたと共に、家族間での交流を深めて頂く事が出来たと思います。その他、関係機関との更なる連携を図り、利用者のより豊かな社会参加を実現できるよう努めました。

3. 研修計画

(1) 施設内研修

・職員全体会・フロア会(月 1 回)においては、全員参加を目標に出来る限り参加しました。

(2) 施設外研修

・福祉関係機関からの研修情報を活かし、福祉施設職員として資格取得や毎日の支援の根拠となる知識・技術・価値の習得に努め、日々の業務に活かすことが出来ました。

4. 行事計画

4 月	5 月	6 月	7 月
・お花見 ・河川敷での運動 ・あかがねミュージアム ・放課後等デイサービス新規利用者受け入れ	・愛媛県障がい者スポーツ大会参加 ・医師の健診 ・マイントピア苅薬 ・玉ねぎ販売 ・調理実習(カレーライス)	・ドライブ・外食 ・おやつ作り ・買い物練習 ・じゃがいも販売	・七夕祭り ・夏祭り(合同行事) ・福祉の集い参加 ・スイカ割り大会(合同) ・プール遊び
8 月	9 月	10 月	11 月
・放課後等デイサービス一日外出 ・レクレーション大会 ・医師の健診 ・買い物練習 ・プール遊び	・公園外出 ・芋ほり ・消防訓練 ・敬老の日の交流行事 ・利用者送別会	・買い物練習 ・地方祭 ・公園外出 ・生き生きフェスティバル ・さつまいも販売	・校区文化祭 ・やすらぎ文化祭 ・生活介護 1 日外出 ・医師の健診 ・合同カラオケ会
12 月	1 月	2 月	3 月
・イオン作品展 ・十全総合病院クリスマスコンサート参加 ・クリスマス会 ・もちつき	・初詣 ・絵馬づくり ・抱負発表 ・成人のお祝い ・おやつ作り	・節分 ・レクレーション大会 ・医師の健診 ・家族交流会	・ひな祭り ・消防訓練 ・公園外出

※毎月、清掃ウォーキング・体育館での運動・図書館利用・他事業所との交流等も行う。

放課後児童クラブ
ともだちパーク

令和1年度 事業報告書

放課後児童クラブ（ともだちパーク）

1. 経営方針

(1)働く女性の支援

『安心して子どもを育てながら、働きたい』の働く女性支援の原点に、安全に生活が出来る場所として、子どもたちの成長を保護者の方と一緒に喜びあうことが出来ました。

(2)交流の場

今年度は、1年生の利用者が4月15人、登録者合計数48人でスタートしました。

長期休暇7月より利用者も1年生19人登録者55人と人数が増加しました。

いろいろな地域や異年齢とのかかわりの中で、子ども達も、色々な経験や友だちとのつながりが出来ているのを実感する出来事がたくさんありました。

(3)民間の児童クラブの特徴

早朝・延長時間の受け入れ・学校が台風などで臨時休校になった場合の受け入れ・長期休暇時の行事の充実・昼食の提供・高学年の受け入れ・他校との交流・高齢者との交流など、保護者のニーズに添った運営をしてまいりました。

保護者のニーズにより、スイミングの送迎バスが施設前に来て下さるので、バスに乗り、スイミングに行く利用者も昨年より増え、スイミングに送り出しました。

2. 重点課題と具体的な取り組み

(1)利用児童の定員確保

- ・三恵会、十全グループの職員割引（登録料）を実施
- ・重要事項説明書を説明や個人情報など、利用者保護者の同意書を頂きました。
- ・平日構成する利用希望者の児童数平均36人~45人を目指しました。
- ・令和2年3月31日で、ともだちパークの事業廃止が決定して、保護者説明会を令和元年9月14日に行い、保護者9名が出席しました。

事業廃止に至る経過を説明し、保護者のご意見・希望等をお聞きしました。

保護者の方は、令和2年4月からの預け先や対応を考え、新しい環境に移られる方、家庭で留守番を経験する方など、徐々に利用数も減ってきました。

(2)放課後児童の健康管理、安全確保、情緒の安定

- ・利用者の病気や食物アレルギー等を把握
- ・来館時の手洗いやうがいを行い健康管理の徹底
- ・流行性の疾病対策、室内などの消毒
- ・学校へ各学年の下校時間に合わせてのお迎えと共に交通安全
- ・ひとりひとりへの言葉かけの配慮とともに保護者への連絡

(3)遊びや宿題等の学習活動に関する援助

- ・玩具の安全確認や正しい遊び方など、ひとりひとりに寄り添いながら集団遊びへの誘導を図りました。
- ・来館後に宿題が取り組める環境を整え、声かけを行いサポートしました。
- ・夏休みには、子ども達が楽しく過ごせる取り組みを行いました。

今年度の新しい取り組みとして『シニア交流センター川西』『総合科学博物館』に行き、地元の文化に触れました。

- ・年度末、ともだちパークや子ども同士との思い出作りに、課外活動『総合科学博物館』

へ行き、プラネタリウム・展示室・みんなでお弁当を囲み、楽しいひとときを過ごしました。

(4) 基本的生活習慣の習得に関する援助

- ・自分の持ち物の片付けや遊んだ物の片付けの声かけ
- ・食事やおやつなどのマナーや来館時のあいさつなどの指導
- ・良い事・してはいけない事の区別がつくような声かけ

(5) 発達支援児への対応

- ・家庭や学校との連絡を取りながら、学童での生活に慣れる工夫を行いました。

(6) 職員の心構え

- ・フロア会を随時行い、共通意識を持ち取り組む
- ・研修会に積極的に参加し、指導員としてのスキルアップを目指す
- ・無駄のないよう意識を持つ

(7) 交流

- ・にこちゃんパーク・おいでんやとの交流・高齢者施設シニア交流センター川西慰問
- ・放課後等デイサービスとの送迎時の交流
- ・館内合同行事の参加（誕生会・夏祭り・もちつき・館長杯カラオケ大会等）

3 行事報告

1 学期	・東浜公園・神郷公園・お話会（回転木馬）
夏休み	・合同行事～夏祭り・誕生会 ・プール遊び・神郷公園・陶芸の絵付け・虫取り・ホットケーキ作り ・ラスク作り・すいか割り・水ふうせん遊び・スパーボールすくい ・お楽しみ会（ビンゴゲーム・新聞ゲーム等） ・出前講座『たまごと楕円の積木あそび』『交通安全教室』 『お話会（回転木馬）』 ・ボランティア『ヤマサキ食パン・サンドイッチ教室』 ・十全看護学校看護学生との交流・南中生職場体験 ・シニア交流センター川西と交流・あかがねミュージアム ・おいでんやの食事配膳の手伝い・にこちゃんパークの誕生会等
2 学期	・合同行事～もちつき大会・神郷公園・東浜公園 ・敬老の日プレゼント作り・生き生きフェスティバルの作品作り ・クリスマスの飾り付け・クリスマスケーキ作り・避難訓練 ・やすらぎの郷文化祭と神郷地区文化祭に作品展示 ・にこちゃんパークの誕生会等交流
3 学期	・初詣（八幡神社）・合同行事～館長杯カラオケ大会・避難訓練 ・東浜公園・折り紙・紙飛行機・なわとび・こま遊び ・総合科学博物館・にこちゃんパークの誕生会等・アイロンビーズ
<外出>	・東浜公園・神郷公園・八幡神社・総合科学博物館 ・シニア交流センター川西・あかがねミュージアム
<出前講座>	・「回転木馬」による本の読み聞かせ ・たまごと楕円の積木あそび・交通安全教室
<ボランティア>	・ヤマサキ食パン・十全看護学校看護学生

※毎月…「おいでんや」との交流を実施 ※随時…「にこちゃんパーク」との交流を実施

地域子育て支援事業(ひろば型)
にこちゃんパーク

令和元年度事業報告書

地域子育て支援事業 (にこちゃんパーク)

1. 経営方針

(1) 交流の場と居場所の提供

乳幼児の子育て中の親子が予約なしで、いつでも自由に利用でき、家庭的な雰囲気の中、安心して楽しく過ごして頂きました。

(2) 子育て相談

身近な相談相手として、育児不安を軽減できるよう、気軽に話せる関係づくりを大切にしました。

(3) 情報の共有

市役所（子育て支援課）を中心に、すまいるステーションや子育て支援拠点事業全8施設で、情報交換を行い、交流を持つことで、よりよい支援に繋がりました。

2. 重点課題と具体的な取り組み

(1) 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進

- ・週4日 月・火・木・金（祝日を除く）を基本として開所し、誰でも利用しやすい場所として、安全に遊べるよう環境を整えました。

(2) 子育て等に関する相談、援助の実施

- ・市政だよりに掲載の開所の曜日・時間を掲載し、電話でも相談を受けて、個人情報を守りました。
- ・来館時、温かく迎え入れ、継続的に関わって支援するように努めました。

(3) 地域の子育て関連情報の提供

- ・子育て支援拠点施設、子育て支援センター、児童館や児童センター、保健センターの予定表や、子育てサークル、公民館便りなどを掲示したり、毎月の行事予定などのお便り（にこちゃんだより）を発行して、市役所や十全総合病院、川東の公民館にも置かせて頂きました。
- ・子育て支援に関する新聞記事や講演会、地域の行事などの紹介をしました。

(4) 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

- ・作ってあそぼうでは、身近にある材料を使ってのおもちゃ作りを紹介したり、季節感の有るカレンダー作りを行いました。
- ・ボランティアによる活動を計画し、お話会（回転木馬）や木の球プール（大五木材）・親子でヨガ（村上氏）に定期的に来て頂きました。

3. 研修報告

- ・市役所（子育て支援課）を中心に、地域子育て支援拠点事業（全8施設）の連絡会（年6回）に参加しました。
- ・すまいるステーション（保健センター）との連絡会に参加しました。

4. 行事報告

季節を感じながら、子育て中の親子が気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で楽しく過ごせました。

毎 月：

- ・お話会（回転木馬さん）・誕生会（写真と手形入り誕生カード）
つくって遊ぼう（工作）・身体測定（成長記録カード）
カレンダー作り・親子でヨガ&親子交流会

随 時：

- ・館内の小学生・高齢者・障がい者との交流を行いました。
- ・利用者の要望に応じてハーバリウム作りなどの自主サークル活動の場所を提供しました。
- ・ランチタイム（12:00 から 13:00）では、楽しく食事が出来るような環境づくりをしました。

年 3 回： ・木の球プール来館

新しい取り組み：

- ・移動動物園
とべ動物園から、移動動物園を招き、ヘビ・うさぎ・ハリネズミ・カメ等と触れ合ったり、小動物を通して、同じ館内の事業所の人達と、交流を図ることが出来ました。
- ・子育て応援フェスタ in にいはま（あかがねミュージアムにて）
地域子育て支援拠点事業の広報啓発と、子育て親子の交流と子育てを楽しむ環境づくりを目的に、子育て支援イベントを開催しました。
各拠点がさまざまな催しを行い、当施設は、親子手作り玩具のコーナーを担当し、大勢の参加者が、おもちゃ作りを楽しめました。

行 事 報 告

	つくって遊ぼう	誕生会・親子でヨガ&親子交流会 お話会(回転木馬)・身体測定・その他
	カレンダー作り	
4 月	かぶと	小学生による誕生会(手あそび歌・紙芝居・絵本) ハーバリウム作り・高齢者との交流
	5 月：こいのぼり	
5 月	紙パックフリスビー	障害者との交流(玉ねぎ販売)・楽器あそび 移動動物園(館内交流)
	6 月：あじさい&カエル	
6 月	時計	リズムあそび・ハーバリウム作り しゃぼん玉あそび
	7 月：金魚	
7 月	七夕飾り	小学生との交流・館内合同（夏まつり） 高齢者との交流・市役所ロビー展・プールあそび ハーバリウム作り・木の球プール(大五木材)
	8 月：ひまわり	
8 月	コロコロ水槽	小学生による誕生会（クイズ・紙芝居・踊など） ハーバリウム作り
	9 月：トンボ	

9月	クルクルストロー	避難訓練・風船あそび
	10月：ハロウィン	高齢者との交流・ハーバリウム作り
10月	太鼓台	小学生との交流・楽器あそび・ハロウィン
	11月：秋の果物	お祭りごっこ・ハーバリウム作り
11月	ミミンバ	校区文化祭に写真展示・ハーバリウム作り
	12月：クリスマス リース	リズムあそび(親子の触れ合いあそび) 子育て応援フェスタ in いはま(あかがねミュージアム)
12月	クリスマスツリー	木の球プール(大五木材)・風船あそび
	1月：獅子舞とネズミ	楽器あそび・小学生との交流 館内合同(もちつき)・ハーバリウム作り
1月	UFO ごま	年賀状・小学生との交流(紙芝居・踊り)
	2月：雪の結晶と雪だるま	親子の触れ合いあそび・ハーバリウム作り
2月	てるてる坊主びな	風船あそび・ハーバリウム作り
	3月：スタンプびな	
3月	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の為、休所	

ユニット型地域密着型老人福祉施設
うみかぜ

令和元年度事業報告

1. 経営方針

令和元年度は、転倒による骨折を軽減することを目標に掲げ、ヒヤリハットや転倒リスク等の状況分析を実施、見守りを強化したことにより、転倒による骨折が年間1件のみの実績を上げることが出来ました。また、ICT 導入により記録業務の煩雑さを軽減、各部署との情報共有や連携強化ができ、職員の「働き方改革」が実践できました。

しかし、ご利用者の高齢化が著しく、体調不良による入院が増えており、うみかぜ目標入所稼働率（入院期間除く）97%に対し、95.9%の実績でマイナス1.1%の結果となりました。また、ご利用者のBPSDに対応できなかった職員による介護・世話の放棄という虐待が発生しました。「風通しの良い職場環境の構築」と「虐待防止対策の徹底」を全職員に宣言し、職員と共に反省し、学び、新しい一步を踏み出した年となりました。

短期入所生活介護事業では、ご利用者やご家族に柔軟な対応を提供することに努めましたが、特養等の他施設への入所が重なり、短期入所目標稼働率90%に対し、89%の実績でマイナス1%の結果となりました。

2. 重点課題と具体的な取り組み

（1）「誠実な福祉」の実践

- ①三恵会理念について職員が思いを語る機会を設け、理念の理解を深めるよう努めた。
- ②ユニットケアの特徴である個別ケアを心掛け、柔軟な対応を実施できた。
- ③BPSDのご利用者への対応に不誠実な職員がおり、勉強会の強化に努めた。

（2）「確実な知識を技術」の習得

- ①新規職員の育成に時間がかかり、責任感を持って対応できる成長には至らなかった。
- ②ノーリフト対策は100%浸透しており、成果を実感できた。
- ③ICT導入後、記録業務の煩雑さは緩和となった。

（3）「堅実な経営」への取り組み

- ①毎月稼働率の報告を行い、稼働率未達成の月はフィードバックをし、次月稼働率達成へ繋げている。
- ②排泄ケアに尽力したが、オムツ等の画期的な節約には繋がらなかった。
- ③見守り強化し転倒骨折は未然に防げたが、ご利用者の高齢化により重症度が高くなり入院期間が増え稼働率増には繋がらなかった。

3. 研修実績

(1) 施設内

- ・各種指針に基づいた研修（8回）
- ・感染症対策研修（動画活用）
- ・認知症ケア（年6回）
- ・緊急時の対応
- ・接遇研修（外部講師）
- ・ユニット会（1回/2カ月）

(2) 施設外

- ・愛媛県・東予地区老人福祉施設協議会主催の各研修会
- ・地域密着型サービス協会主催の各研修会
- ・社会福祉協議会主催の研修会
- ・介護支援専門員の各種研修会
- ・特定給食施設等関係者研修会
- ・ユマニチュード入門研修会
- ・喀痰吸引の研修会

4. 行事实績

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 4月 花見外食 | 10月 運動会、太鼓祭り |
| 5月 ドライブ（菖蒲見物） | 11月 握り寿司、おでんバイキング |
| 6月 観音大祭、恵海まつり | 12月 クリスマス会 |
| 7月 七夕 | 1月 初詣、お茶会 |
| 8月 ビアガーデン、ワークキャンプ | 2月 節分、握り寿司バイキング |
| 9月 敬老会、芋炊き、防火訓練 | 3月 防災防火訓練 |

5. 地域交流、ボランティア

(1) 地域交流

- ・恵海まつり ・太鼓台訪問 ・多喜浜校区自治会との交流（運動会、文化祭他）
- ・近隣施設との交流（GHしおさい） ・運営推進会（年6回）
- ・めぐみカフェ ・地域清掃（月1回～2回） ・多喜浜保育園訪問

(2) ボランティア受入れ

- ・歌、コーラスグループ ・楽器演奏会 ・生花講師 ・和太鼓 ・よさこい連

グループホーム
かがやき

令和元年度事業報告

1. 経営方針

令和元年度は、職員の認知症への理解と対応を強化し、ご利用者一人ひとりが「その人らしい生活」と、「その人らしい幸せな時間」を送ることに取り組みました。ご利用者に寄り添い丁寧な介護を実践し、心穏やかな生活を送れるよう支援することにより、職員との信頼関係が深まりました。ご利用者の笑顔に支えられ、職員の成長を感じられる一年となりました。

転倒による骨折予防を心掛け、ヒヤリハット分析や転倒リスク等の状況分析を実施、見守りを強化したことにより、転倒による骨折は年間0件でした。また、口腔ケア体制の強化や栄養状態評価を実施し、ご利用者の健康管理に尽力した結果、かがやき入所稼働率目標（入院期間を除く）97.5%に対し、99%の実績でプラス1.5%の成果となりました。

2. 重点課題と具体的な取り組み

（1）「誠実な福祉」の実践

- ①三恵会理念について職員が思いを語る機会を設け、理念の理解を深めるよう努めた。
- ②地域の文化祭や地域太鼓台のお披露目会に参加し、地域共生社会の交流を深めた。
- ③BPSDの勉強会に参加し、認知症の知識や理解を高めご利用者の支援に努めた。

（2）「確実な知識を技術」の習得

- ①新規職員の成長過程に個人差があり、一律的な認知症対応職員の育成には至らなかった。
- ②ユマニチュード入門研修に参加し、認知症の知識や対応の向上となった。
- ③細やかなカンファレンスを実施し、ご利用者やご家族の支援に取り組んだ。

（3）「堅実な経営」への取り組み

- ①毎月稼働率の報告を行い、稼働率未達成の月はフィードバックをし、次月稼働率達成へ繋げている。
- ②ご利用者の転倒骨折予防や健康管理に尽力し、ご利用者の入院を減らし稼働率増加に努めた。
- ③毎月の棚卸により、日用品・消耗品の管理ができ無駄を省くことができた。

3. 研修実績

(1) 施設内

- ・各種指針に基づいた研修（8回）
- ・感染症対策研修（動画活用）
- ・認知症ケア（年6回）
- ・緊急時の対応
- ・接遇研修（外部講師）
- ・ユニット会（1回/2カ月）

(2) 施設外

- ・地域密着型サービス協会主催の各研修会
- ・社会福祉協議会主催の研修会
- ・介護支援専門員の各種研修会
- ・認知症対応型サービス事業所管理者研修
- ・感染症セミナー
- ・看取り研修

4. 行事实績

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 4月 花見外食 | 10月 運動会、太鼓祭り |
| 5月 ドライブ（菖蒲見物） | 11月 握り寿司、おでんバイキング |
| 6月 観音大祭、恵海まつり | 12月 クリスマス会 |
| 7月 七夕 | 1月 初詣、お茶会 |
| 8月 ビアガーデン、ワークキャンプ | 2月 節分、握り寿司バイキング |
| 9月 敬老会、芋炊き、防火訓練 | 3月 防災防火訓練 |

5. 地域交流、ボランティア

(1) 地域交流

- ・恵海まつり ・太鼓台訪問 ・多喜浜校区自治会との交流（運動会、文化祭他）
- ・近隣施設との交流（GHしおさい） ・運営推進会（年6回）
- ・めぐみカフェ ・地域清掃（月1回～2回） ・多喜浜保育園訪問

(2) ボランティア受入れ

- ・歌、コーラスグループ ・楽器演奏会 ・生花講師 ・和太鼓 ・よさこい連

兒 童 福 祉 施 設
中萩保育園

平成 31 年度 事業報告

1、経営方針

子どもは、0 歳児の時から「無条件に愛される」という経験を重ねることにより、人との愛着関係、信頼関係を築くことができます。そのため、子ども達一人一人に寄り添いながら「子ども中心」に愛情豊かに応答的な保育を心がけてきました。今後も実践を振り返り、見直し、職員間で共通理解を図り、また、育児、養育不安の保護者に寄り添うことで、子どもの育ちが保障できるよう丁寧な保育に取り組んでいきたいと思ひます。

令和元年 10 月より幼児教育（保育料）が無償化となり、食事材料費（副食費）は生活保護世帯などを除き、保護者の自己負担が原則となり、国が定めている副食費 4,500 円を保育園が保護者から直接徴収することとなりました。4,500 円では一部負担となりますが、今後も子ども達の健やかな成長発達を願ひ、食の安全に気を付けながら、おいしい給食が提供できるよう努めていきたいと思ひます。

子ども達を取り巻く環境の変化、特に、昨今、新型コロナウイルス感染症が大流行し深刻な問題となっています。学校が一斉休校しているなかでも保育所は開所が基本となるため、その対策を講じながら安全・安心に生活できるよう努めなければなりません。今後も行政、保護者と連携を取りながら感染予防のため、最善を尽くしていきたいと思ひます。

職員間で情報を共有し、共通理解を深めることで保育園全体の質の向上に繋げていけるよう協働を図り、子ども・保護者・職員が共に育ちあう保育園づくりを目指していきたいと思ひます。

2、重点課題と具体的な取り組み

（1）「誠実な福祉」の実践

①子どもの健康・安全な生活を保障する

- ・朝の受け入れ時の視診、検温などの健康観察を行い、元気に生活できるように努めた。
- ・毎日、保育室や廊下の消毒を行い、感染症予防に努めた。
- ・新型コロナウイルス感染症対策に努め、手洗い、室内換気の徹底に努めた。
- ・安全対策委員を設置、避難訓練や不審者侵入を想定した訓練を行い、危機管理意識を持つように努めた。
- ・ヒヤリハットを細かくとらえ記入することができた。今後も生活の場を整備し、子どもの動きを想定することで安全保育に繋げていきたい。

②子どもの健やかな発達を目指した保育

- ・子どもの気持ちに共感することで子ども達が安心して生活ができるよう環境を整備した。今後も乳幼児期の成長発達を理解し、自己肯定感が育つようにしていきたい。
- ・基本的生活習慣の確立では、個人差を踏まえその子に合ったペースで成長できるよう丁寧な保育に心がけた。今後も焦らず一人一人を大切に関わっていききたい。

- ・ 戸外遊び(鬼ごっこ、雲梯、鉄棒等)を通して体力づくりに取り組んできた。
- ・ 児童センターやキラキラ公園まで散歩に行き、自然に触れたり、散歩を通して交通ルールを身に付けたりできるよう取り組んでいる。今後も心身ともに健やかに成長できるよう保育していきたい。

③専門機関、教育機関、他施設との連携

- ・ 年2回、十全総合病院小児科（長谷川 Dr）、藤田歯科クリニック（藤田 Dr）による検診を受けた。その結果を保護者に伝え、早期治療に繋げている。
- ・ 住友病院眼科スタッフによる年中児の眼科検査、発達支援課による年長児の発音検査を行い、早期発見早期治療に繋げている。
- ・ 発達支援課による巡回相談、就学前相談を受け、サポートファイル等を作成することで支援を必要とする子どもが無理なく集団で生活ができ、クラスの一員として協調できるように保育している。
- ・ 愛媛聾学校幼児部に在籍している児童との交流を通して聴覚障害児への支援を深めることができた。その児童との交流を通して相手を思いやる優しさなど、心の成長に繋がってきた。
- ・ 中萩小学校での幼保小連絡協議会への参加。授業参観、話し合いによる情報交換を行った。就学に向けての引き継ぎ、支援を必要とする子のサポートファイル作成など小学校との連携を取っている。運動会、お祭り集会などにも参加した。子ども達が小学校生活に期待を持って就学できるよう今後も交流していきたい。
*各機関との連携は今後も大切にしていきたい。
- ・ 上部児童センター運営協議会に参加、子どもを中心に地域との交流を深め、健全育成に係ることができるよう意見交換を行った。
- ・ 老人施設むつみの家と連携を取り災害時の協力体制を話し合ったり、夕涼み会、クリスマス会等の行事に招待したり、慰問に行ったり交流を深めている。

④危機管理対策

- ・ 毎月、各災害を想定しながら避難訓練を実施。問題点、反省点を職員間で話し合い、子ども達が安全に避難できるよう取り組んでいる。31年度も施設強化加算の申請を行い、防災用ヘルメット、ハンズフリー拡声器を購入した。また、保護者が防災マニュアルを閲覧できるよう廊下本棚に配置している。掲示板に避難経路を掲示し、保護者にも知らせている。
- ・ セコムに依頼し防犯対策に努めている。
*今後も職員間で危機管理について話し合い、確認することで、防災、防犯意識を高めていきたい。

(2)「確実な知識と技術」の修得

①職員の資質向上

- ・ 保育協議会主催の研修、日本保育協会主催の研修、三恵会主催の研修などに参加し資質向上に努めた。また、保育協議会主催のキャリアアップ研修を受け知識を深めることに繋げた。
- ・ 自己評価をすることで自分自身の反省評価を行い、子どもの活動内容や結果だけでなく、子どもの育ちや意欲に繋がる保育を目指してきた。今後も職員間での話し合い、共通理解をすることで保育の質の向上に繋げていきたい。
- * 日々いろいろなことに直面しながらも、職員一人一人は前向きに取り組み一生懸命頑張っている。
- * 今後も研修、経験を重ねながら専門性を身につけ、また、社会人としても成長していって欲しい。

②専門性の充実

- ・ 保育園で働く全ての人が子どもに対しての人的環境である。言葉遣い、身だしなみ、行動等、子どもの成長に与える影響は大きい。職員一人一人が丁寧に子ども達に関わり保育するよう心がけた。
- ・ 全体計画に基づいて各クラス年指導計画、月指導計画、週（日）指導計画、個人別月指導計画、個人別週（日）指導計画、各行事の指導計画を立て、ねらいをもって保育に取り組んだ。
- ・ 看護師による健康観察、感染症予防についての情報提供などを行った。また、職員に嘔吐物処理の仕方について講習を行い、職員間での周知を図った。
- ・ 栄養士を中心に保育士、調理員が話し合いながら食育活動（野菜の菜園、収穫、クッキング、試食会など）を行った。また、アレルギー児の除去食、肥満傾向にある子どもの食について保護者と懇談を行いながら食事の提供を行った。
- * 毎月、園だより、クラスだより、保健だより、給食だよりを配布した。

(3)「堅実な経営」の実践

- ・ 職員の育児休業に伴い、本部の協力を得て保育士の雇用ができ、安定した経営に繋がった。
- ・ 定期的に保育室、園庭遊具等の安全チェックを行い、遊具の塗装、危険個所の修繕を随時行った。
- ・ 日々、忙しく業務に追われている中でも、子どもの成長、保護者からの声かけを通し、保育の仕事に対してのやりがいを感じられるよう、今後も働きやすい環境づくりをしていきたい。
- ・ 職員間で備品チェックを行いながら無駄をなくすよう取り組んできた。

3、研修実績

(1) 施設内

職員会（クラスの状況報告、気になる子について、給食検討、けがの報告等）、
安全対策委員会、先任者会、主任会

(2) 施設外

保育協議会主催の研修、キャリアアップ研修、日本保育協会主催の研修、
保育協議会部会（園長、主任、幼児、乳児、障がい児、給食）
日本保育部会（園長、主任、給食）、就学前人権同和教育
三恵会本部主催の研修

4、行事实績（年間）

- 4月 入園式、家庭訪問、園児健康診断、園児歯科検診、年長児発音検査
 - 5月 野菜の収穫、遠足、保育参観（試食会）、年中児眼科検診、
看護の日（ユリノキ病院より花プレゼント）
 - 6月 わくわくお楽しみ会、プール開き
 - 7月 プラネタリウム見学、七夕集会
 - 8月 プール大会（バイキング給食）
 - 9月 敬老の日ハガキ投函
 - 10月 運動会、お祭り集会、中萩小学校のお祭り集会に参加、交通安全教室、
生き生きフェスティバル作品出展、園児歯科検診
 - 11月 親子遠足、シルエット劇場観覧、プーク人形劇観覧、職場訪問、園児健康診断、
中萩文化祭作品出展、やすらぎの郷文化祭作品出展・鼓隊演奏出演、
火遊び防止教室
 - 12月 保育参観、おもちつき、クリスマス会、むつみの家クリスマス会参加、
新入園児申請書受付、在園児家庭現況届提出
 - 1月 もうすぐ1年生撮影
 - 2月 節分、たのしいおあつまり（発表会）、祖父母招待、記念撮影
 - 3月 ひな祭り集会、お別れ遠足ごっこ、お別れ会、卒園式
- ＊毎月実施…誕生会、異年齢児交流、食育活動、避難訓練、身体測定など

5、地域交流、ボランティア、実習生

(1) 地域交流状況

夕涼み会、運動会、発表会などに地域の方を招待した。

(2) 実習生受け入れ

松山東雲短期大学（1名）
今治明德短期大学（1名）

聖カタリナ大学短期大学部（1名）

大阪総合保育大学（1名）

河原学園（1名）

（3）体験学習の受け入れ

中萩中学校（79名）

角野中学校（5名）

養護老人ホーム
新居浜市立慈光園

令和元年度 事業報告

養護老人ホーム新居浜市立慈光園

1. 運営方針

老人福祉法に基づく養護老人ホームとして、環境上及び経済上の理由により在宅生活が困難な方、養護をするだけでなく、自立支援・社会参加が必要な方に対し、支援を努める中、それぞれの心身特性は極めて多様であり、また生活の困窮に至るまでのプロセスも様々です。

このような中で、利用者の心身の低下による支援の増加、精神疾患を持った方や生活困窮者の入所が多くなるなど自立支援困難者の増加に伴い利用者の個人差が大きくなる中、一人ひとりのADLに応じた処遇計画を作成し、介護保険サービスの利用や地域交流、園内行事を通じて健康維持を行い、自主性をそこなわず安心して生活が送れるよう支援に努めました。

感染症対策では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、日常生活の中で誰もが感染するリスクを抱える中、職員及び利用者への対応に関してマスク着用を含む手洗い、手指消毒等による衛生管理の徹底、職員の体調管理（健康チェック）を毎日実施し消耗品の備蓄管理に努め、利用者のご家族様に対しては、面会の制限をするなど期間を定め利用者に対し自粛措置をとり、感染症予防策として市町村と連携をとりながら利用者の安全配慮の為に指定管理者として対応しました。

2. 重点課題と具体的な取り組み実績

(1) 「誠実な福祉」の実践

- ①利用者個々の状態に応じて個別処遇計画に係るPDCAサイクルに取り組み実践に努めました。
- ②出前講座の開催や他の団体が主催するイベント等へ出展、創作活動などを積極的に推進し、生活意識の向上に努めました。
- ③嗜好調査の実施により季節感や彩に配慮した食事提供に努め、衛生管理と食品管理を適正に行いました。
- ④夏祭りを開催し地域住民の方々の参加をいただき地域交流に努めました。
- ⑤園近隣における清掃活動を実施するとともに、金栄小学校の1年生を対象とした下校時の見守りボランティア活動を実施しました。
- ⑥台風時における指定避難所としての役割を努めました。

(2)「確実な知識と技術」の修得

- ①地域包括ケアシステムの構築に向けた諸施策の整備や編成が進む中で関係機関等との連携及び情報の共有をはかり、処遇困難な利用者への対応など地域に貢献できました。
- ②愛媛県老人福祉協議会等が開催する各種研修会に参加し知識と技術の向上を目的とした人材育成に努めました。

(3)「堅実な経営」の取組み

- ①毎月の予算執行管理を確実にするとともに、財務諸表の点検、月々の変動、経年変化、前年同月比較を実施し経営管理を行いました。
- ②物品の適正な在庫管理に努め、購入にあたっては見積りを取るなどの経費削減及び増税対応に努めました。
- ③デマンド量の監視により電気使用状況を把握し抑制に努めるとともに、利用者に節電を呼び掛け、電気料金の減少に努めました。
- ④ストレスチェックを実施し、職員のメンタルヘルスケアを行いました。
- ⑤社会福祉施設における新型コロナウイルス感染拡大防止策を市町村と連携し安全配慮を行いました。

3. 研修実績

(1) 施設内研修

- ①職員全体会（月1回） 主任会（月1回）
- ②出前講座
AED講習、認知症予防、健康寿命を延ばそう、悪徳商法にご用心
水風雨害から身を守るには、高齢者とお薬について、終活について

(2) 施設外研修

- ①老人福祉施設協議会（愛媛県、東予地区、新居浜市）の研修会
- ②東予感染管理サークル主催の研修会
- ③三恵会法人本部主催の研修会
- ④十全ユリノキ病院主催の研修会

4. 行事実績

- 4月 お花見歩行会、菜の花畑見学
- 5月 子供太鼓台訪問
- 6月 あじさいドライブ
- 7月 慈光園夏祭り、市民一斉清掃、防災訓練

- 8月 ショッピング
- 9月 敬老会、ショッピング
- 10月 運動会、子供大人太鼓台訪問、防災訓練、生き生きフェスティバル
- 11月 紅葉ドライブ、金栄校区文化祭
- 12月 クリスマスコンサート、餅つき大会
- 1月 初釜
- 2月 節分
- 3月 お楽しみ会

5. 地域交流、ボランティア

(1) 地域交流

慈光園夏祭り・春秋太鼓台訪問・市民一斉清掃・生き生きフェスティバル
金栄校区文化祭・地域清掃・金栄見守り隊

(2) ボランティア受入

お話会クラブ・童謡クラブ・絵手紙クラブ
十全保育園・さくら乳児園・一宮グループ
新居浜南中学校・新居浜西中学校